

こくみん民主党和歌山県連に集う まじめで正直な政治をめざす自治体議員・仲間たち



野党のバラバラな状況に終止符を打ち、社会全体を包み込む温かさを持った政治勢力の結集のため、新党「こくみん民主党」が設立されました。

私たちは政府の再配分機能を重視し、個人の自己責任にすべてを押し付ける立場はとりません。政治が人の心の問題には踏み込みます、自由で、多様性を重んじる寛容な社会をつくります。LGBTや外国人労働者問題も、個人の基本的人権を尊重する立場から前向きに取り組みます。まじめで正直な、かたよらない政治を実現します。

衆議院議員・和歌山県連代表

きしもと しゅうへい
岸本 周平

国民民主
kokumin minshu PRESS
こくみんみんしう

国民党 国民民主プレス 編集部
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1
電話:03-3595-9988(代表)メール:press@minshin.or.jp
URL:<https://www.dpfp.or.jp>

国民党 和歌山県総支部連合会
〒640-8156 和歌山市七番丁11-1 アラスカビル5階
電話:073-427-2255 FAX:073-427-2277
メール:info@dp-wakayama.jp URL:<http://dp-wakayama.jp>

2019年 新春号

和歌山県議会議員(4期)幹事長

うら ぐち

浦口

こう てん

高典

プロフィール

- 昭和30年3月生まれ
- 高松小、和大付属中、耐久高、早稲田大学卒業
- ミズノ株式会社社員
- 北川正恭(元三重県知事)、故玉置和郎(元総務庁長官)秘書
- 県議会福祉環境委員会委員長ほか

私の政策

- ① 「健康長寿日本一わかやま」の実現
- ② 「阪和35分通勤快速電車」の促進
- ③ 「JR和歌山駅中心コンパクトシティ」の推進

和歌山市議会議員(3期)副幹事長

なが の

永野

ひろ ひさ

裕久

プロフィール

働き盛りの45才元サラリーマン 公募出身の市議会議員 2010年8月市議補選にて初当選。
2015年4月和歌山市議会通常選挙当選(3期目当選) 現場主義・市民感覚の目線・わかりやすい市政をモットーに!
過去の選挙では『選挙は名前の連呼ではなく政策論争であるべきはず』の信念を持ち公費節約の意味も込め『選挙力なし・自転車一台・マイク一本の選挙戦』を貫いた。

振れない 市政への想い5つの基本理念

- ① 防災力に優れた和歌山市
- ② 子育てに優しい和歌山市
- ③ 高齢者に優しい和歌山市
- ④ 人が集う元気な和歌山市
- ⑤ 税金の無駄遣いを徹底的にチェックします

和歌山市で活躍する県連幹事

やま なか

山中

とし お

敏生

プロフィール

- 昭和59年7月29日生まれ
- 砂山小学校、西和中学校卒業
- 近畿大学附属和歌山高等学校卒業
- 近畿大学卒業
- 証券会社・営業職
- 衆議院議員岸本周平秘書

私は国会議員秘書として地元和歌山市で5年間活動してまいりました。その間たくさんの人と出会いお話しを伺う機会がありました。

夢のある話もあれば、現状の問題点や改善案、様々なお声がありました。

しかし、そのほとんどが議会には届いていません。理由は「言っても変わらない」という諦めがほとんどでした。

私は市民の声を大切にします。

岩出市で活躍する県連幹事

さか た

坂田

たか のり

隆徳

プロフィール

- 昭和54年4月生まれ 昭和58年より岩出市紀泉台在住
- 和歌山中央幼稚園、和歌山大学附属小学校、智辯学園和歌山中学・高等学校卒業
- 関西学院大学法学部法律学科卒業
- 元衆議院議員塚一宏秘書、地元企業に10年間従事(鋼材販売業)中小企業者の現場に身をおく中で政治の必要性を認識する

「反対のためだけの反対」

「中身を精査もせずに賛成」

これはいたしません!

相手が強いものであっても言うべきことはしっかり言い、相手と立場が異なっても協力すべきところはしっかり協力します。

(志のある政治)

国民党は 女性候補者比率 30%をめざします！

家事、育児、介護、そして地域社会の慣習など、女性の政治参画を進めていくために考えるべき課題は、今も数多く存在します。女性議員の割合が少ない自治体ほど、若い女性の人口減少率(推計値)が高いとの調査結果もあり、多様な民意を反映させるには、議会への女性の参加が不可欠です。

国民党は、女性の立候補や議員活動の環境整備に取り組むとともに、女性が政治に参画するためのフォローアップ体制づくりを進めています。また、党の女性議員、候補者等が参加する全国組織「女性議員ネットワーク会議」があり、<私たちのめざす社会>の構築に向けて、お互いの経験やノウハウを共有しています。

<私たちのめざす社会>

「女性議員ネットワーク会議」に集う私たち一人ひとりは、日本のどこで暮らしていても、女性も男性も性的マイノリティも、子どもも若者も高齢者も、障がいの有無にもかかわらず、一人ひとりが大切にされ、その人らしい人生を歩むことができる「共に生き、支え合う社会」をめざします。

国民党の女性候補者支援策

人材育成から立候補、選挙、議員活動スタートまでを **一貫フォロー**

女性新人候補者に支援金を拡充 最大 **260万円**

国民党は、自薦・他薦を問わず、女性の候補者を募集しています。

あなたの志、一緒に育てます。



田名部 まさよ
たなぶ まさよ
参議院 青森 1期(衆議院3期)

父・田名部匡省(元農林水産大臣)を支援する、地元の地方議員らに推されて衆院選に出馬。その後、保守王国・青森にて参院に当選。

舟山 やすえ
ふなやま やすえ
参議院 山形 2期

元農水省のキャリア官僚。自営業の夫との間に一男三女。衆参合わせた唯一の山形の野党議員。

小宮山 泰子
こみやま やすこ
衆議院 埼玉7区 6期

父は小宮山重四郎(元郵政大臣)。県議を経て国政に。今も川越の自宅から電車で国会に通う生活者目線のベテラン議員。

徳永 エリ
とくなが えり
参議院 北海道 2期

獣医師志望だったが獣医学科が6年制に変わり経済的理由で進学を断念。歌手を目指し上京したのちワイドショーのリポーターになった。

伊藤 孝恵
いとう たかえ
参議院 愛知 1期

リクルートに在籍のまま、3歳と1歳に授乳しながらの立候補。(日本初の育休中の国政出馬)祖父母の介護にも直面するダブルケア議員。

矢田 わか子
やた わかこ
参議院 比例代表 1期

元パナソニックグループ労働組合連合会の副委員長。働く女性を代表して電機連合から選出された初めての女性国會議員。

西岡 秀子
にしおか ひでこ
衆議院 長崎1区 1期

父・西岡武夫(元参議院議長)の秘書として、政治に参画。2016年参院選に党の要請を受けて出馬。昨秋の衆院選で初当選。